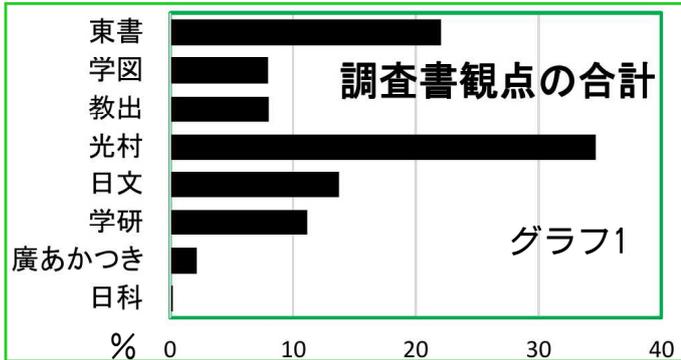


ふじさわネット通信

2018年8月 第33号

発行 みんなの教育・ふじさわネット
代表 松本 一郎
TEL・FAX 0466-33-4820



グラフ1 中学校が提出する調査書

中学校は教科書を7つの観点(裏面参照)で調査研究し、学校長が調査書を提出します。裏面の表は各観点につけられた○を一覧にしたものです。

1校が各観点に1個～8個の○をつけることができます。左のグラフ1は、各校の持ち点を同じにし、つけた○の数により差が出ないように統計的な処理を行い作成しました。また、各観点を重みが同じになるようにしています。

採択審議委員会答申 発行業者別「審議のまとめ」表1

略称	観点1		観点2		観点3		合計	
	発言	行数	発言	行数	発言	行数	発言	行数
東書	12	39	4	8	3	8	19	55
学図	2	4	3	8	4	14	9	26
教出	2	4	5	11	4	9	11	24
光村	11	47	4	9	2	8	17	64
日文	6	22	4	12	4	12	14	46
学研	3	6	3	11	4	14	10	31
廣あかつき	1	5	3	5	1	3	5	13
日科	1	2	3	5	3	9	7	16

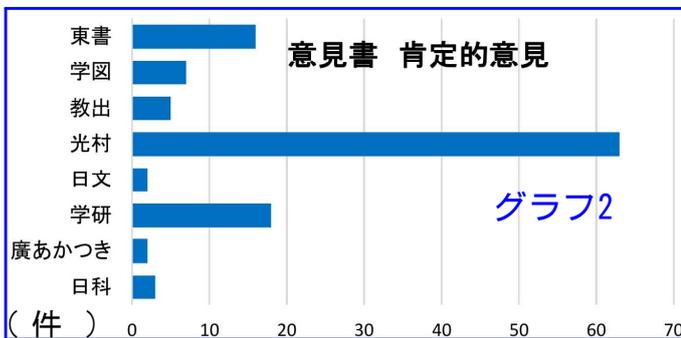
審議の観点1: 調査書の観点1・4・5・6
審議の観点2: 調査書の観点2
審議の観点3: 調査書の観点3

調査書の観点は裏面に説明があります。

表1 採択審議委員会の答申「審議のまとめ」

7月11日採択審議委員会は2回目の審議を行い、教育長への答申は、2回目の審議の結果を発行業者別にまとめた「審議のまとめ」とすることを決めました。よりわかりやすい答申になりました。

表1は公表された答申「審議のまとめ」に記載された観点ごとの発言数と、記載された文の行数を集計したものです。発言数では東書、行数では光村が最も多くなっています。

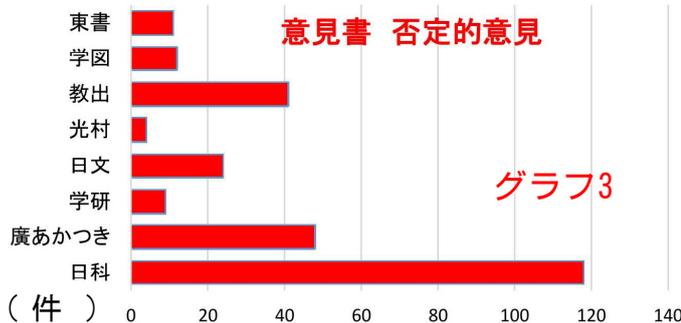


グラフ2 市民意見書「肯定的意見」の件数

グラフ3 市民意見書「否定的意見」の件数

教科書展示会の来会者数と意見書記入数は、市民ラウンジが222と138、中学校が94と69、合計は316と207でした。

グラフ2・3は教育指導課が作成・公表した意見書一覧表をもとに作成しました。グラフ2は「良い」「採択して欲しい」などの肯定的意見、グラフ3は「問題がある」「違和感」「採択しないで」などの否定的意見の件数を表しています。



教育委員と昨年採択時の発言から

ぶれない姿勢・確かな議論を期待

教育委員のメンバーは昨年の小学校道徳採択と同じです。下に昨年の議事録から発言の一部を引用しました。ぶれない姿勢、確かな議論を期待します。

教育委員氏名

平岩 多恵子 ○
小竹 伊津子
中林 奈美子
大津 邦彦
飯島 広美

○印は教育長

中林委員:道徳は、考えることが主で書くことが主でないこと、机のスペースや低学年、特に1年生には2冊を使いこなすことが困難な児童もいるかもしれないことを考えると、ノートはなくて良いと私は思います。

平岩教育長:私もすべての教科書を拝見し、各種調査資料、答申書等を拝見いたしました。私は郵便局や各学校で行われました教科書展示会での意見や各小学校長が作成した調査書に基づき意見を述べさせていただきたいと思ひます。

小竹委員:市民、保護者など一般の方のご意見にもありましたが、私も5年生での「子どもの権利条約」、6年生での「世界人権宣言」が取り上げられていることが印象的でした。

